



鐘

の音

Kane-no-Ne

川越商工会議所青年部とは

平成18年(2006年)5月29日設立。川越に集う青年経済人に「互いの知性や感性を磨き合い、新たな発想や活力を生み出す場」を提供することを目的とし、次代の川越商工会議所と川越市経済界、そして埼玉県西部地域の更なる発展を推し進めていくことを念頭に活動をしています。

第81回

交流会報告

2024年6月7日(土)、第81回交流会「あつまれスポーツの森」が農業ふれあいセンター体育館及び広場において開催されました。青年部としては稀な対外事業を我々企画室が担当することとなった経緯を説明させていただきました。少々前置きが長くなりますが、ご容赦ください。

今から約二年前、次期部長候補に内定していた篠原部長から「何か楽しいことを企画し、出来れば対外事業を運営する室として企画室の副部長をやってくれないか」と打診されました。同じ

年であり、この男との出会いが青年部活動の財産であると公言し、奥富副部長とともに重い篠原部長を担ぎ上げた私にとって、副部長の就任に異存は全くありませんでした。

しかしながら、ほぼ前例のない対外事業の運営には一抹の不安があったため、それを見据えた企画室メンバーの人選を行い、篠原体制一年目から今事業開催に向けてのプレ事業として合同地区会を企画開催してきました。

2024年度を迎え、開催日時が決定し、役員会にて事業内容が承認されてから数ヶ月に及び会議を重ねてきました。当該会議には企画室メンバー7の人のみならず、正副部長や今回のために特別に各地区から出向いた

だいた方々及び事務局を含めた面々に参加いただきました。青年部活動の根幹は各地区の活動ですが、我々企画室が対外事業を運営する意味は、地区の垣根を超えた事業遂行だと思えます。拡大企画室会議を数ヶ月にわたり行うことこそが、まさに地区の垣根を超えた青年部全体での事業であり、当日の開催までの道のりで、本事業の目的の大半が遂行できたのではないかと、自負しております。

そしていよいよ当日、最大の懸念事項であった天候も、部長と私が携わったとは思えないほどの好天に恵まれ、早朝より多くの青年部会員の皆様にご参集頂き開催することができました。

通常の交流会とは異なる対外事業となる為、今回は9時から体育館にて開会式として青年部セレモニーを行いました。竹澤専務理事にご挨拶いただき、新入会員紹介のほか、情報発信室奥富副部長による臨時全体協議会のロゴを経て開会式を終了し、いよいよ一般参加者を迎えて10時より事業が開始されました。

スポーツイベントとして次の4つの事業を行い、体験してもらいました。

○ネオホッケー

4月の交流会でも体験したネオホッケーを蔵ガラスホッパーズの全面協力により、体育館にて行いました。青年部以外の方々はほ

ぼ初体験だったと思いますが、子供達だけでなく必死にボールを追いかける親御さんの姿も印象的で、体育館に大きな歓声が響いていました。



○サッカー

広場にてCOEDO KAWAGOE F.C.の選手たちによるサッカー教室を開催してもらいました。小さい子供達にも優しく楽しく指導して



もらい、みんな笑顔で汗を流していました。またサッカーダーツでは大人も高得点目指して真剣に狙っていました。

○スナッグゴルフ

広場にてニアピンブリス、パターブリス、アプローチブリスを設けました。川越市スナッグゴルフ協会より用具を拝借し、二代目青年部部長でもある鈴木会長も足を運んでもらいました。ドラコン大会では大人も子供も力強くスイングしていましたが、中には力みすぎて大ダフリのお父さんの姿も…



○モルック

モルックは初心者でもわかる簡単なルール、それでいて奥の深い駆け引きを楽しんでもらいました。モルックは会議を重ねる中で案が出て、南部地区会で体験して好評だったことから急遽開催することとなりました。が、予想以上の盛り上がりの子から、実施して良かったと思



また、スポーツイベントがより華やかになったのが飲食店ブースです。営業補償がないにもかかわらず出店して頂いた「SUP COFFEE STAND 村中さん」「沖繩居酒屋ちゃんぷる」オリオン 中村さん、「北風と太陽 岩上さん」には心から感謝申し上げます。さらに飯野相談役が振舞ってくれた綿菓子も機械も相談役から借用しました。かき氷とともに大好評でした。

熱中症対策も兼ねてセレモニアグループの東京民間救急サービス様のご協力により救急救命士と医療サポートカーを配備し、参加者にサポーターカーの見学もさせて頂きました。参加してくれた子供達には東京キリンビバレッジサービス様、西武酪農乳業様からご協賛いただいた飲料や準備したお菓子を配布し、「ありがとうございました。楽

しかったです！」と笑顔で受け取ってくれた姿に我々もとても嬉しくなりました。

第二部は、慰労会として会場を川越湯遊ランドへ。一日の汗を洗い流した後のお酒の格別でした。参加者の笑顔に達成感と充実感を味わった瞬間です。

今回の交流会は、川越市に後援頂き会場との折衝や用具の提供にご協力いただきました。

篠原部長肝いりの今回の交流会は、各地区副部長のお声かけにより青年部の皆様のご協力で行うことができました。特に松本・関口両幹事を筆頭にいた藤川・佐野・長堀・岩上の企画室メンバー、特別に出向いただいた東部山田さん、西部成田さん、南部塚越さん、北部間下さん、鈴木君・村山君をはじめとした事務局の皆様には本当に感謝いたします。青年部の会員及びご家族並びに一般の参加者の合計は約300名にのぼりました。参加されたすべての方々にこの場をお借りして御礼申し上げます。青年部、最高！

企画室部長 藤井 靖



第30回修行座禅の会のご報告

第30回目となる修行は、中院にて住職の仁平広海様のご指導の下「座禅の会」を開催し、15名もの会員の方にご参加いただきました。

初めに、住職から呼吸について説明があり、普段の呼吸よりゆっくり吐いてから吸

うということを教わり、それから座禅のご指導をいただきました。座禅中姿勢が乱れたりしている人は住職に肩を木の棒で叩いて頂きました。眠気や雑念を感じた参加者は自ら合唱して肩を叩いて頂きました。約40分の座禅でしたが、参加者からは「あつという間だった。」「リラックスできた。」「という声をたくさん頂きました。」

定番の座禅の会でしたが、感想を聞くと大好評の活気のある会でした。

修行の会では、また今後またくさんの修行を企画してまいりますので、奮ってご参加ください。

修行の会副会長 滝本浩幸



編 集 後 記

今年も川越まつりが盛大に開催されました。ご活躍された皆様お疲れ様でした。

私もお祭りに行きましたが、多くの人が出て大変賑わってりました。お祭りというのは、普段はまじめで勤勉なイメージの日本人がエネルギーを爆発させる機会でもあります。お祭りからエネルギーを感じ、川越や日本の文化の良さを再確認することができました。

また、海外からの観光客も多く見られました。お祭りを通して日本の文化を体験し、普通の観光では得られないちょっとスペシャルな日本を感じ取ってもらえたのではないかと思います。

海外での体験といえば、私も5年ぶりに海外へ行くチャンスがありました。飛行機を降りた瞬間のその国独特の二オイと空気感、入国審査での対応など空港にいる時からワクワクすることがありました。現地の人と現地の言葉を変えて交流したり、食べ物指さして注文したり、日本語が通じない環境が今まで以上に楽しく思えとても感動しました。違う文化に触れて感じる新鮮さとワクワク感をこの先もずっと忘れずにいたいです。

さて、来月はいよいよ小江戸川越ハーブマラソンが開催されます。青年部にとって大事なイベントです。青年部メンバーは一丸となって大会運営を頑張ります！

情報発信室 立原 明

川越商工会議所青年部 登録事業者数 202社

(令和6年10月23日現在)

- 川越商工会議所青年部 会報誌 『鐘の音』 第83号
- 令和6年10月23日発行
- 編集・発行責任者 川越商工会議所青年部 情報発信室 副部长 奥富 将之
- 情報発信室 幹事：竹村 仁／櫻井 良樹 鈴木 寛／村中 由紀／立原 明